

第3回アスティークカップ10ブロック交流2年生大会要項

日程 平成26年11月29日～12月

会場 別紙参照

大会方式 1. 参加40チームを8組(5チームリーグ)の一次リーグ。リーグ上位2チームの合計16チームで、決勝トーナメントをおこなう。

2. 一次リーグ戦においては勝点制(勝ち=3、引き分け=1、負け=0)とするが、同勝点の場合は、得失点差総得点 当該チームでの結果 警告、退場の少ない方 コイントスの順に順位付けをする。

競技規則 1. 下記以外は日本サッカー協会「2014年度競技規則」に基づく。

2. 6人制による競技とする。登録選手全てをエントリーできる。

最小5人でも可とする。但し、相手チームの人数変わらない。試合開始時に5人未満の場合、または試合中に5人未満(退場、怪我等)になった場合は参考試合(不戦敗)とする。

参考試合は、相手チームに勝ち点3を与え、スコアは0-0とする。また、不戦敗試合の時も同様とする。

3. 試合時間は、予選リーグを**15分1本**とする。決勝トーナメントは**15-5-15分**とする。

決勝トーナメントでは同点の場合、5人によるPK戦にて勝者を決定する。決勝のみ同点時には5分1本の延長戦をおこない、延長終了時になお同点の場合は、PK戦にて勝者を決定する。

4. 試合中退場処分を受けた者は、次の試合1試合に出場できない。警告回数が2に達した場合も同処置とする。

5. 試合球は4号縫いボール(各チームより抛出)を使用、空気圧は0.5以下。**スパイクは禁止。**すね当ては、必ず着用のこと。

6. ピッチサイズは、基本的に縦40～45m、横25～27mとする。ゴールはミニゴールを使用。

ペナルティエリアR=6mとし、ゴールエリアを兼ねる。ペナルティマーク=6m、センターサークルR=6m、FK、GK、CK時の距離=6m

7. **交替はハーフライン両側3メートルに交替ゾーンを設け、その自陣ベンチゾーン内で交替する。(フットサル形式)**但し、GKの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得ておこなう。(退く競技者も交替ゾーンから出る)

交替前に予備審判から用具のチェックを受ける。交替用紙の提出は不要。交替は再出場可。

8. **オフサイドは採用しない。**

9. **予選リーグの試合開始と終了は、本部の合図をもとに行う。(予定)**

審判 1. 各チームから1名、合計2名で構成し、1人審判制を採用する。予備審判は、予備審判側のタッチラインの援助をする。審判服、審判章を必ず着用のこと。**チームで責任の持てる審判員(有資格者)を派遣のこと。**
審判証を本部に提示すること

2. 割り当ては、リーグ戦は時程表を確認すること。トーナメントは、第3試合のチームが1試合目の審判を行い、その後は前の試合のチームが行う。準決勝、3位決定戦、決勝の審判は原則として本部が担当する。ただし、諸事情により試合のないチームをお願いすることがある。

3. 割り当てられた審判は、前の試合終了後スムーズに次の試合が開始できるようにすること。

審判記録カードを各自で準備し、主審は終了後速やかに本部に提出すること。

4. **主審は試合終了後、予備審と両チーム監督との間で得点の確認をする。**

注意事項 1. 悪天候による中止等は、当日の第1試合開始2時間30分前までに決定する。

2. 会場準備は、会場責任チームが中心となり、第1試合、第2試合のチームから各2名以上の協力によりおこなう。
第1試合開始1時間前までに集合のこと。

3. **メンバー表の提出は1日1回とする。メンバーチェックはないが、先発選手のみ用具などのチェックは行なう。**

4. 進行を円滑におこなう為、前の試合の進行状況を注視し、終了時にはコート付近で待機していること。

5. ユニフォームは色の異なる(正副)2着を極力用意すること。無い場合は必ずピブスを用意。

6. 試合の際、ベンチには監督1、コーチ2の3名と選手だけが入る。(ベンチ入り指導者は、最低2名は入ること。)

7. 応援は所定の位置にておこなうこと。

8. 各会場の注意事項をしっかりと把握すること。特に駐車制限台数、スペースを守り(路上駐車厳禁)、必ず「駐車票」を掲示すること。**違反した場合当大会の失格、今年度、及び来年度の各大会のエントリーを剥奪する事もある。**

9. 片付けは、初日は最終試合のチームが、2日目はベスト4に残ったチームが本部の指示に従いおこなうこと。